

最近の リウマチ薬

リウマチとは？

リウマチは体内の免疫に異常が起こることによる自己免疫疾患です。現在痛みや炎症を抑えるのにさまざまな薬剤が使用されています。

- 痛み止め
- ステロイド
- 抗リウマチ薬
- 免疫調節剤
- ヒアルロン酸
など

近年、これらの薬剤に加え、生物学的製剤というものが登場してきました。

生物学的製剤

体内ではサイトカインと呼ばれる物質が合成されています。

この物質には、さまざまな種類が存在し、リウマチに関与する免疫反応、炎症、そのほかにも、生体防御、アレルギー、発生・分化（形態形成）、造血機構などの生体反応に関わっています。

近年登場してきた薬剤は、このサイトカインの働きを抑え、症状を改善するということに着目し、開発された製剤です。

現在、日本では、4種類の薬剤（すべて注射）が認可されています。

- レミケード
- エンブレル
- アクテムラ
- ヒュミラ

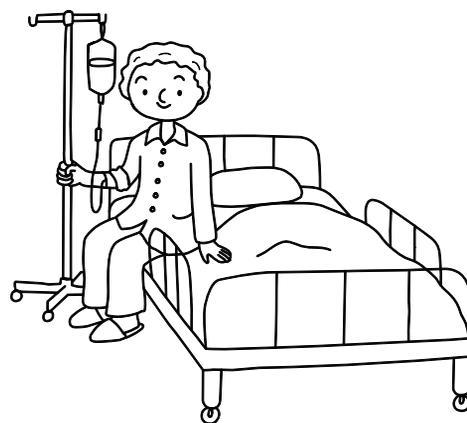


使用方法で点滴注射のものと皮下注射のものに大きく2つに分けることができます。

| | TNF阻害薬 | | | IL-6阻害薬 |
|--------------|---------------------|--------------------|------------------|-------------------|
| 一般名 (商品名) | インフリキシマブ (レミケード) | エタネルセプト (エンブレル) | アダリムマブ (ヒュミラ) | トシリズマブ (アクテムラ) |
| 投与経路 | 点滴静注 | 皮下注 | 皮下注 | 点滴静注 |
| 投与経路 | 0・2・6週 その後8週ごと | 週2回 | 2週に1回 | 4週に1回 |
| MTX併用 | 必ず併用 | 併用時の方が 有効性が高い | 併用時の方が 有効性が高い | 併用可 |

点滴注射

薬剤に応じ、1ヶ月に1回、ないし2ヶ月に1回、約1～2時間ほどかけて、外来受診時に点滴するものです。1回の点滴で長期間効果が持続します。自宅で行うことはできません。



皮下注射

薬剤に応じて1週間に2回ないし2週間に1回の皮下注射をおこないます。技術を習得すれば、インスリンのように自宅等で自己注射が可能な薬剤です。薬剤の溶解など煩わしい手順が必要ですが、最近、より使いやすいよう改良されてきています。

両者共に、利点・欠点があります。薬剤の特性、患者さんの環境・状態に応じて、どの薬剤を使用するかは主治医と相談して決定を行います。



現在日本は4種類の薬剤が認可されていますが、新しい数種類の薬剤が認可にむけて研究、開発されています。

おかしいなと思ったら

これらのお薬には比較的に似たような副作用が現れることがあります。

- 風邪のような症状
- かゆみ
- 発疹
- だるい
- 頭痛
- めまい



皮下注射では注射したところが腫れる、点滴では急激なアレルギー反応

その他、病原体に対する抵抗力が弱まることもあり、結核や肺炎などにかかりやすくなったり、現在かかっている感染症が悪化することもあります。少しでも異変を感じたら医療機関に受診してください。また、他の医療機関に受診の場合は現在使用の薬剤をお伝えください。